# 「13 第3回 Fintechフォーラム

分散型台帳技術 Cordaについて

~R3の戦略とロードマップ~

山田 宗俊 Project Manager APAC, R3

# Agenda

- 1. R3コンソーシアム
- 2. R3Netとは
- 3. Cordaの特徴
- 4. 他DLTとの比較
- 5. Cordaオープンソースコミュニティ
- 6. ロードマップ

### R3コンソーシアム

- 金融機関向けに世界最大の分散型台帳技術のコーンソーシアムを牽引
- 次世代金融取引ネットワークの開発にフォーカス



<u>コンソーシアムメンバー数:</u>

**77**社

#### <u>戦略:</u>

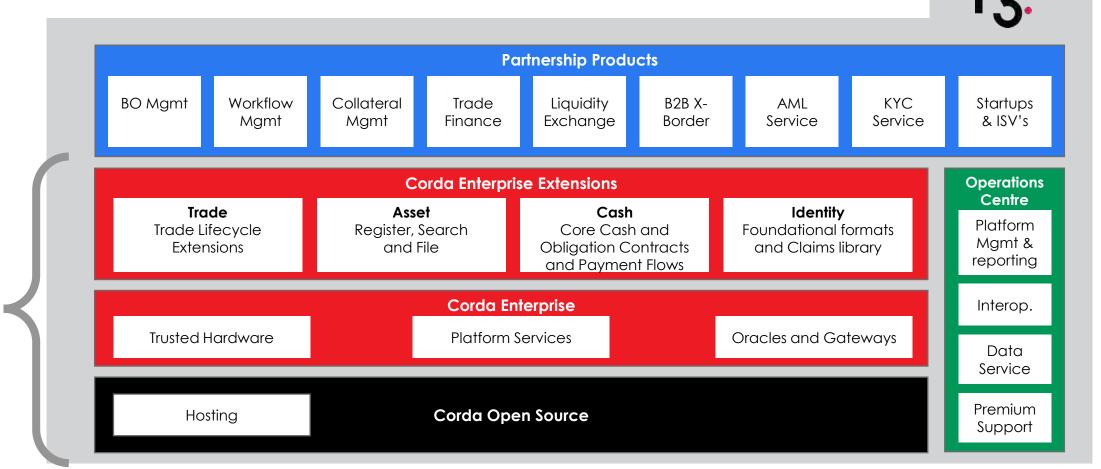
FY2016 Prototyping & Development

→FY2017 Platform & Services

プラットフォーム: R3Net (仮称)

### R3Netとは

パートナーとの協働により、Corda上で動くアプリケーション (プロダクト)をリリースしていく予定。



presentation title - private and confidential.

### Cordaの特徴

目的:金融取引に特化し、商用に耐え得るプラットフォームを構築する。

#### データ共有モデル

→"知る必要のある" 範囲で。ブロー ドキャストはなし

#### トランザクションの検証

→取引ごとに当事者間で。ブロック なし、PoW (Proof of Work)なし

#### コンセンサス

→Uniqueness Serviceにより実施

#### トランザクションスタイル

→UTXO モデル, パラレル実行

#### 当局対応

→当局向けノードを想定、透明性の 確保

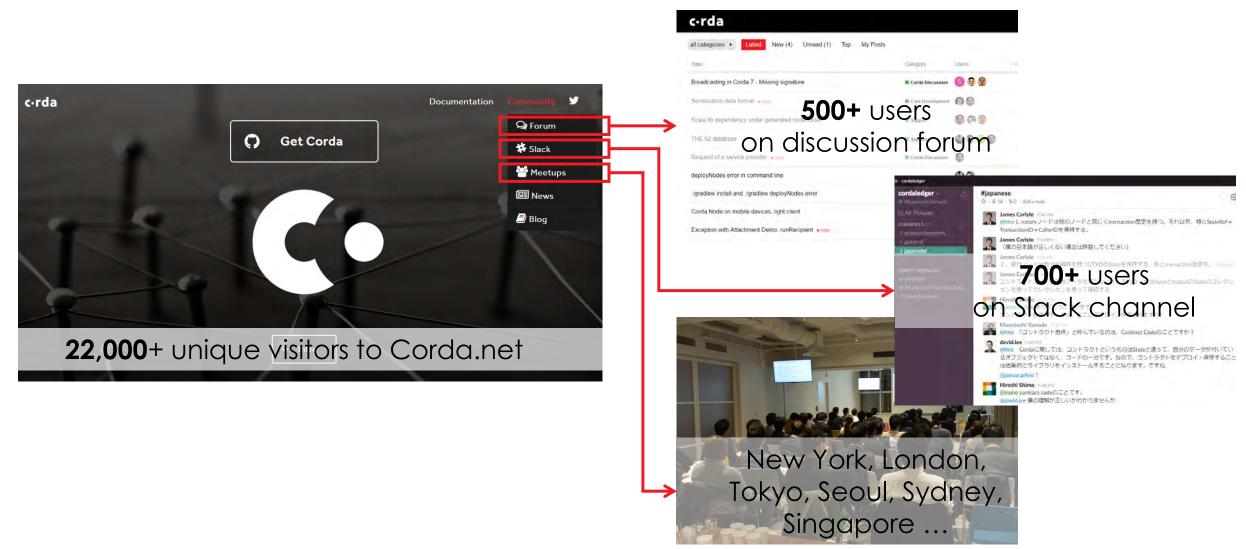
#### 拡張言語

→Kotlin, Java

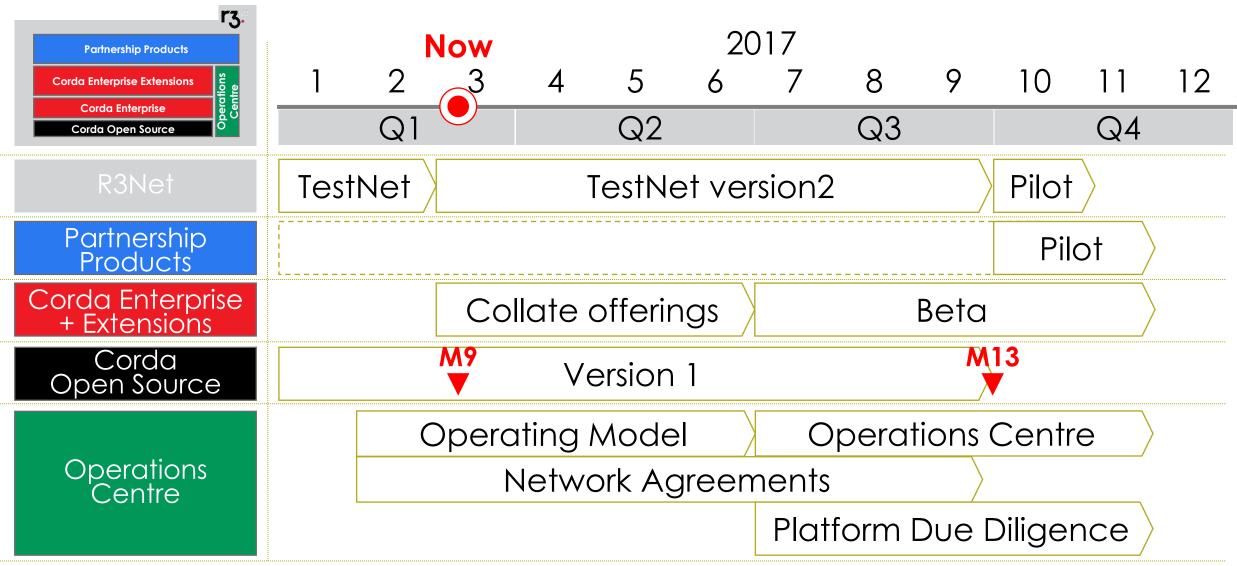
# 他DLTとの比較

#	Item	Bitcoin	Ethereum	Fabric	Corda
0	目的	非中央集権型デジタル 通貨	分散ネットワークでのス マートコントラクト実行	様々なビジネス向け ユースケースへの対応	金融取引に特化したプラット フォーム
1	データ共有モデル	ブロードキャスト	ブロードキャスト	ブロードキャスト (ただし暗号化)	"知る必要のある" 範囲で
2	トランザクションの 検証	プルーフオブワーク	プルーフオブワーク	PBFT	取引ごとに当事者間で
3	コンセンサス	Proof of Work	Proof of Work	PBFT	Uniqueness service provided
4	トランザクションス タイル	UTXOモデル	アカウントベース	ブロックチェーン + キーバリューストア	UTXOモデル
5	当局対応	なし	なし	なし	当局向けノードを想定
6	拡張言語	Python, LLL	Solidity	Go	Kotlin, Java
7	仮想通貨	あり	あり	なし	なし
8	ネットワークへの参 加形態	誰でも参加可能	誰でも参加可能	許可制ネットワーク	許可制ネットワーク
9	スマートコントラク ト	限定的	チューリング完全	チューリング完全	チューリング完全
10	実行環境	ネイティブコード	Ethereum Virtual Machine	ネイティブコード	Java Virtual Machine
11	法律文書との紐づけ	コード・イズ・ロー	コード・イズ・ロー	法律文書を参照可能	法律文書を参照可能
12	ファイナリティ	なし	なし	あり	あり

# Corda オープンソースコミュニティ (2017年2月9日現在)



## ロードマップ

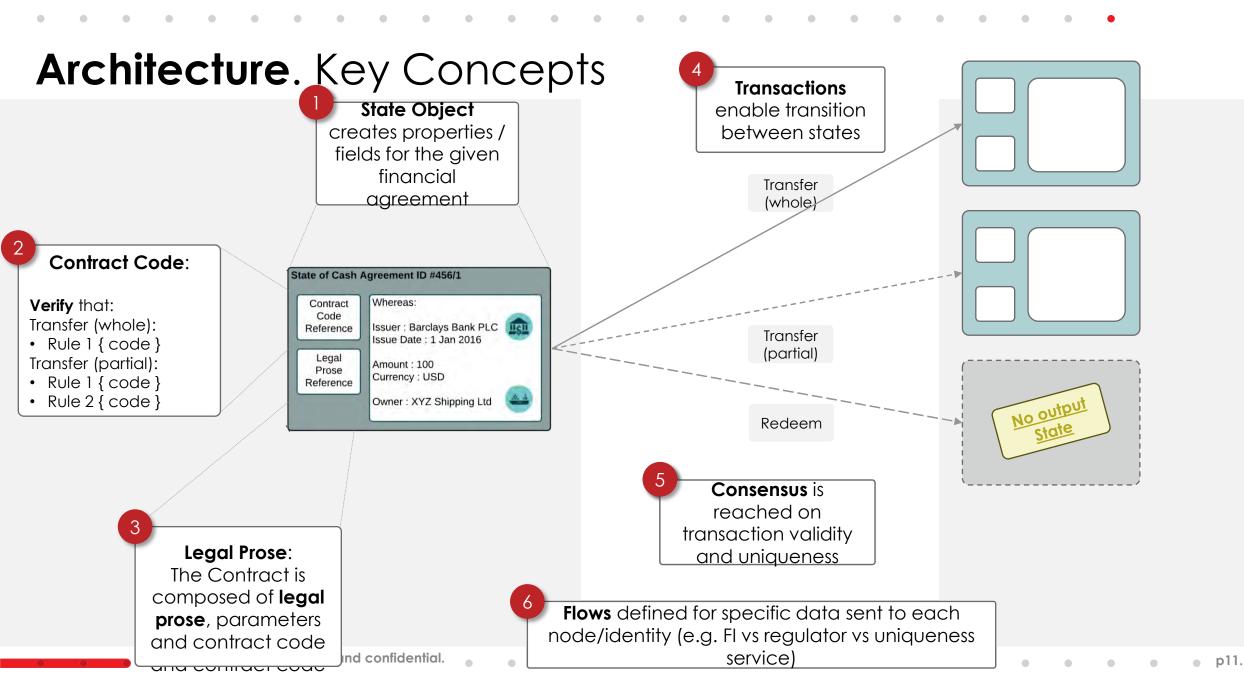


### **Questions?**

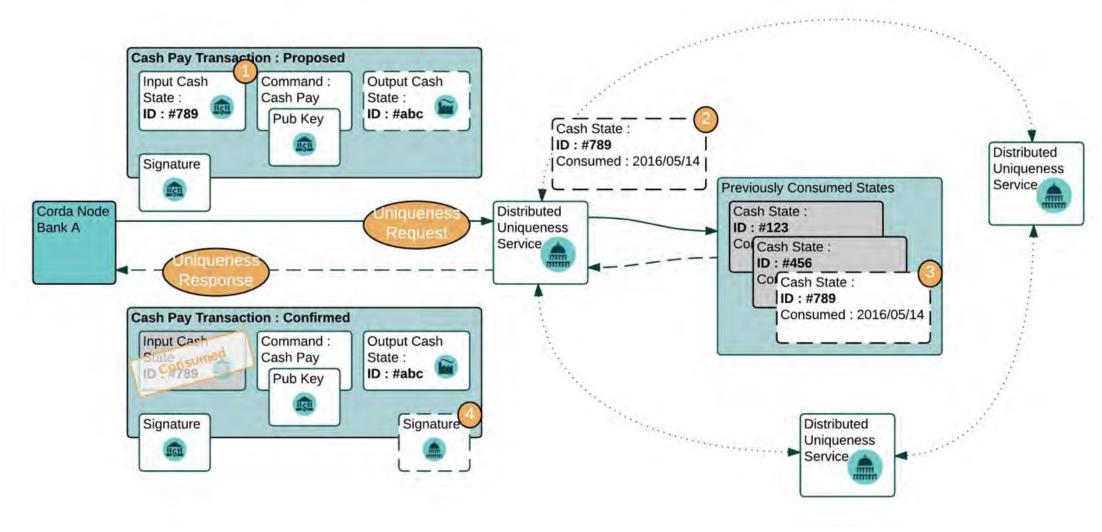


docs.corda.net slack.corda.net discourse.corda.net corda.net



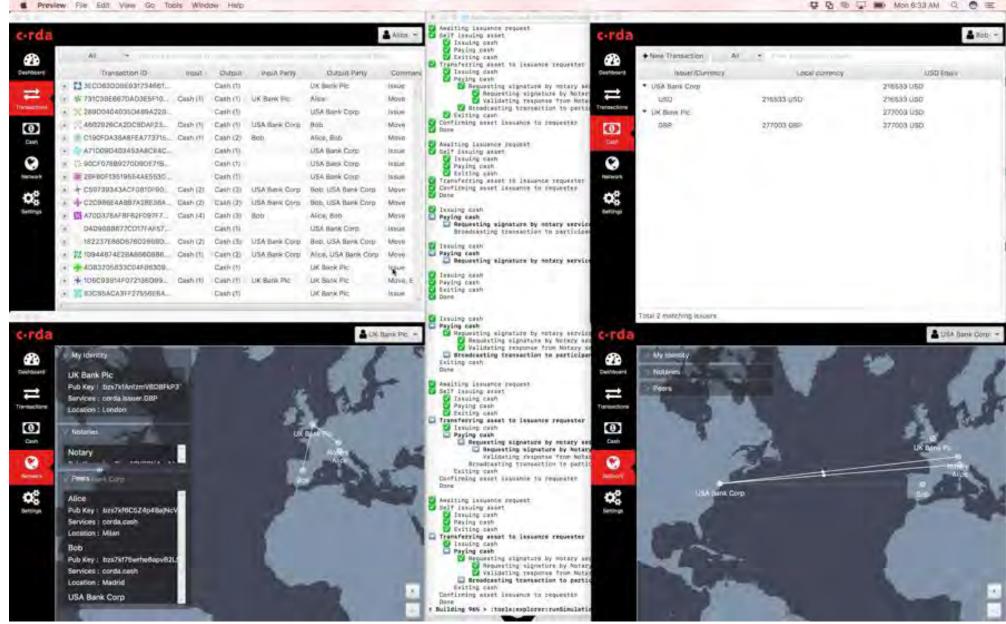


## Consensus. "Double spend" prevention.



# Bank of Corda

# Demo Screen



presentation title - private and confidential.